



鶴亭秀賀作
梅蝶樓國貞画

下の巻

上の巻



金花七變化

第一〇至一三編

13
1182
4



卷七

十一
十二
十三

小
20二
冊 合
4

遠13
1182
4



七
花
綾

鶴亭秀賀作
梅蝶樓國貞画

上
の
巻

へ13 時
1182
4



浄休慶

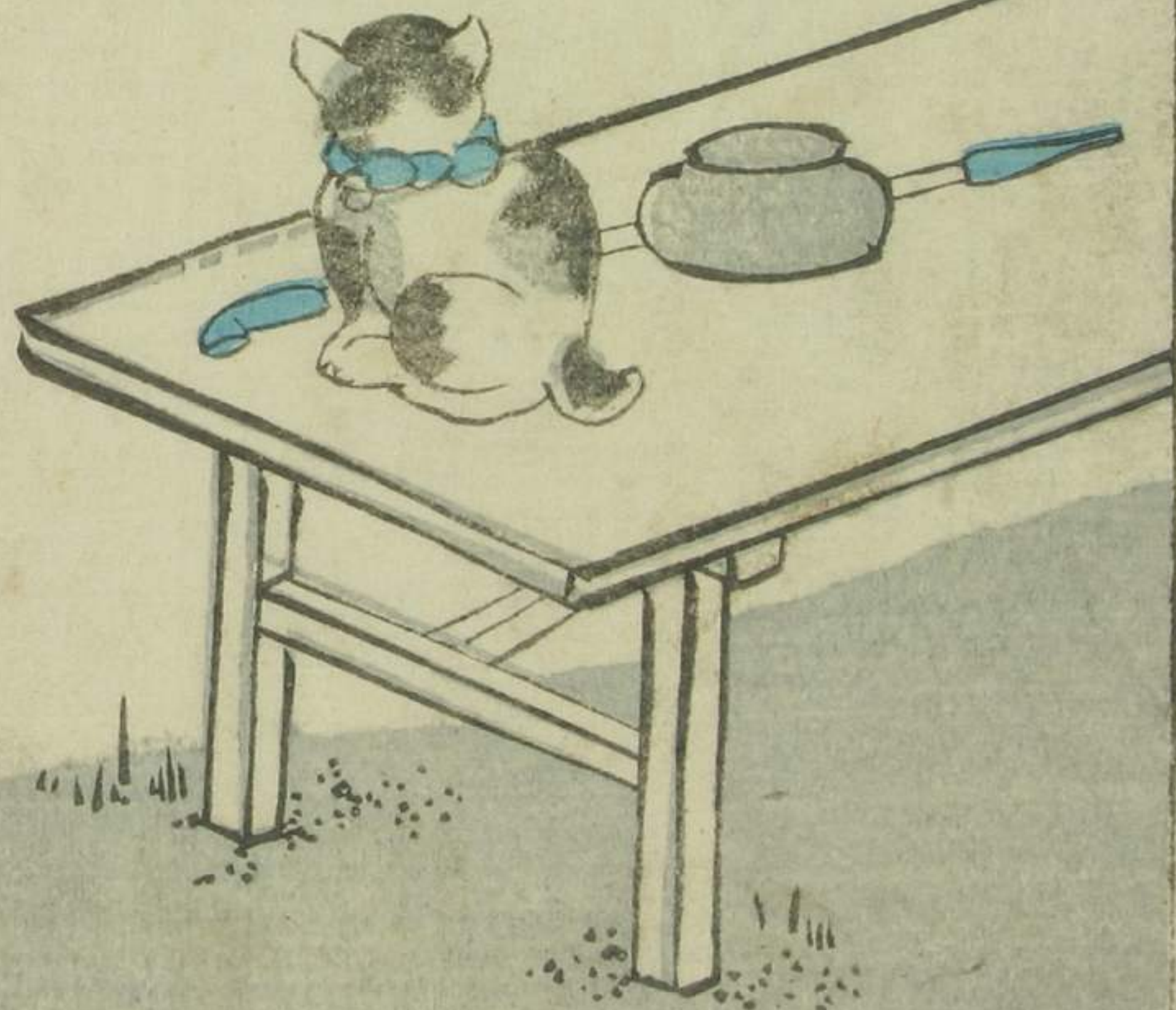
重宝七変化

十海下轄多

秀賀化梅縁

梅國又画圖

食和巻板



或人の曰此書三編下の巻よ出々難波阿四郎の舎弟漂之然るるびよ

玉猫の身初瀬の緯其後如何做せや更し篇を重ぬれども説出せぬ

不審と聞えと兼知顔も對言なり成程夜半の燈火の如く立消做

出せんものごとく不構層へ仕舞置るる此篇阿四郎最期の時漂の燕への

遺言と赤四郎との大い託せ緯と誌も實余り多時影も噂も爲

され備や作者の心却るる者官の思はん事を察と也其処等よ如く

猪蹄も多れ余計御世話也無用と澄と視てや濟ゆる趣向の系の口多

きも佳しと善ん腕と組系眼を丸打の思案赤紅辛苦を尽き意細打覺

策も猶いと長き譚と総角の結目迄不相替御評判の程偏願奉る

文久三支春發兌

秀賀記





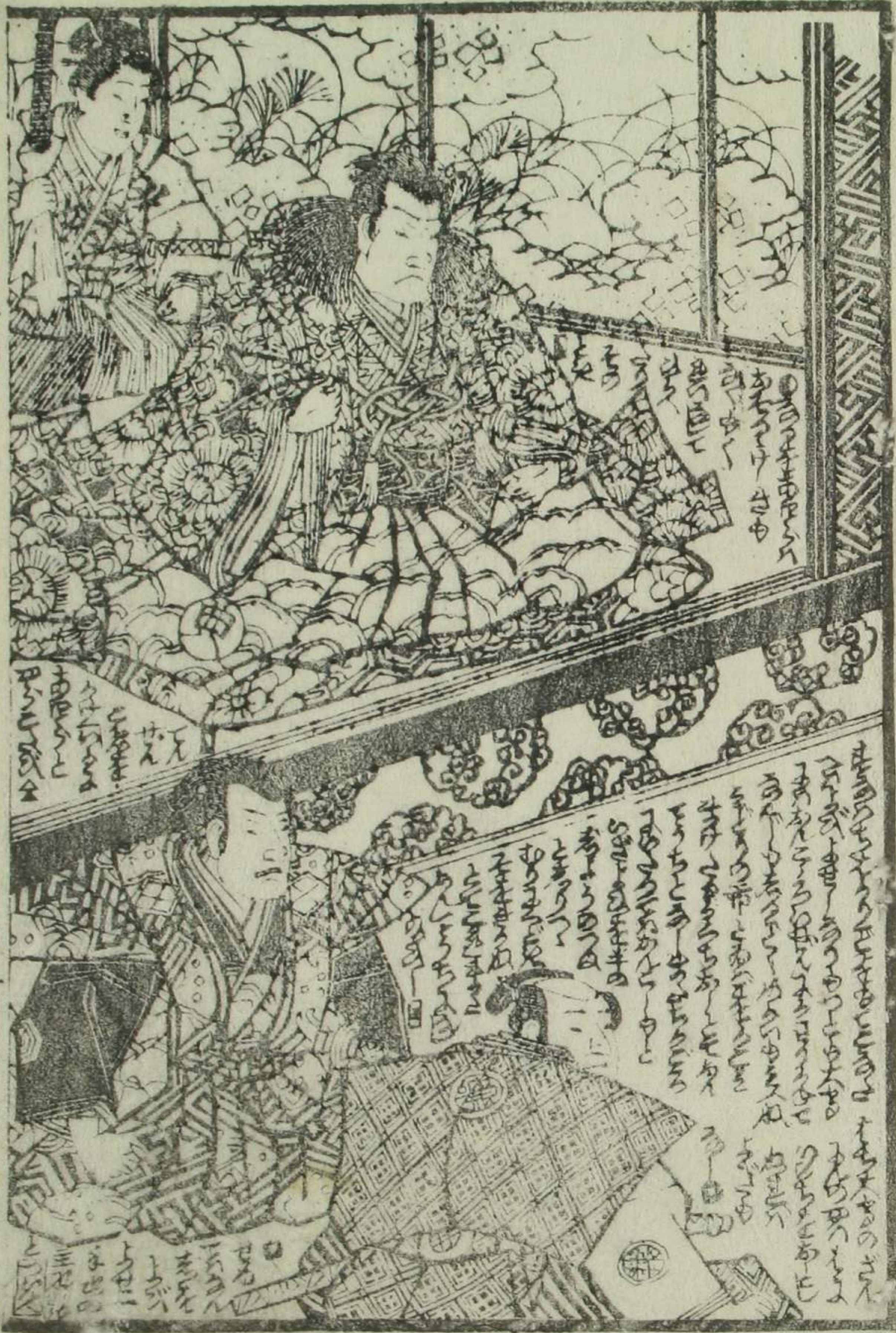
七中りたの雀も
 小森半之壺
 をまきまきと
 不計りて助へ
 大災を引出せ



秋
 坂名鳥九郎
 碧岩

同四郎
 赤四郎





Handwritten text in a cursive style, likely a preface or introductory text, located at the top of the left page.



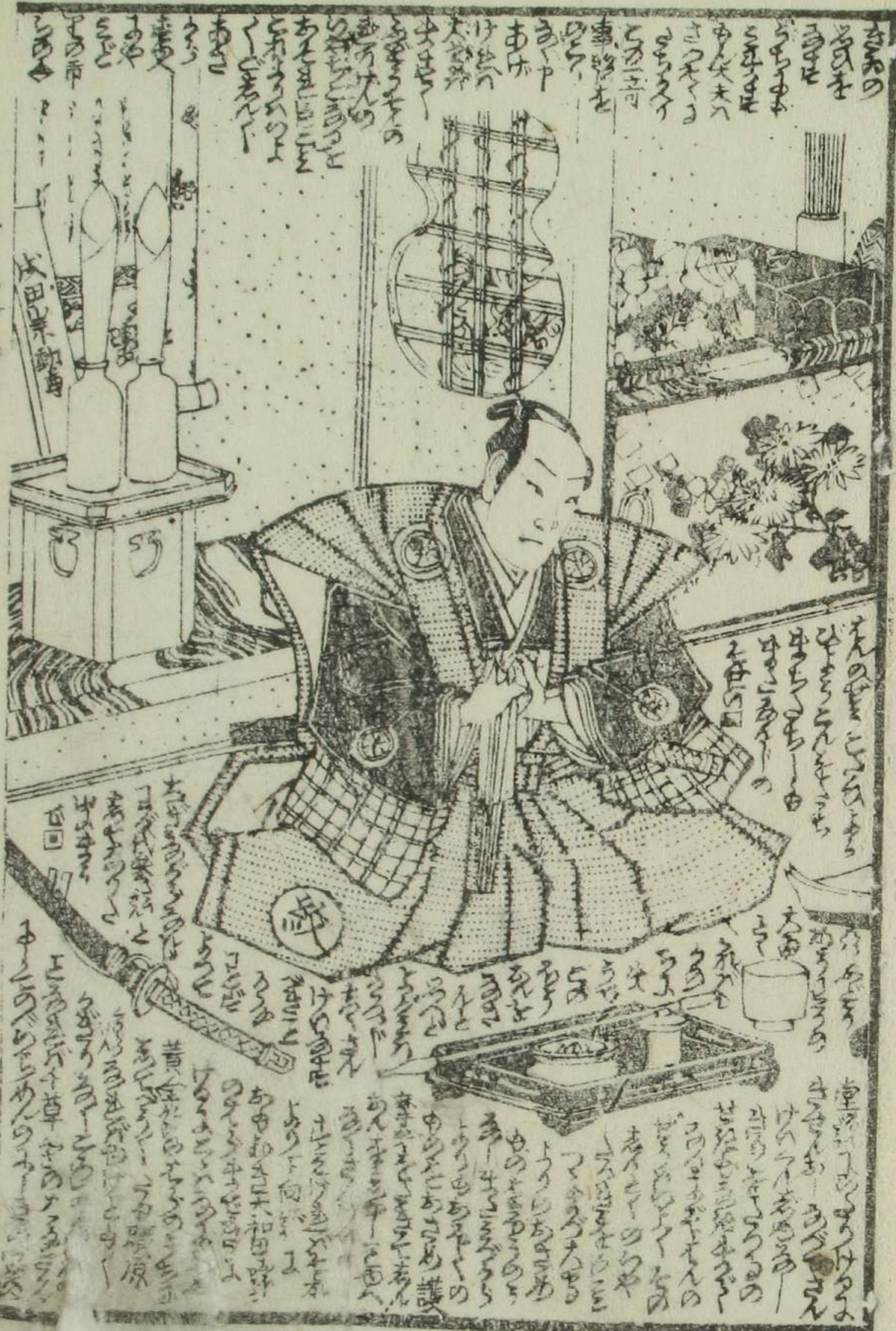
Handwritten text at the bottom of the left page, continuing the narrative or providing commentary.

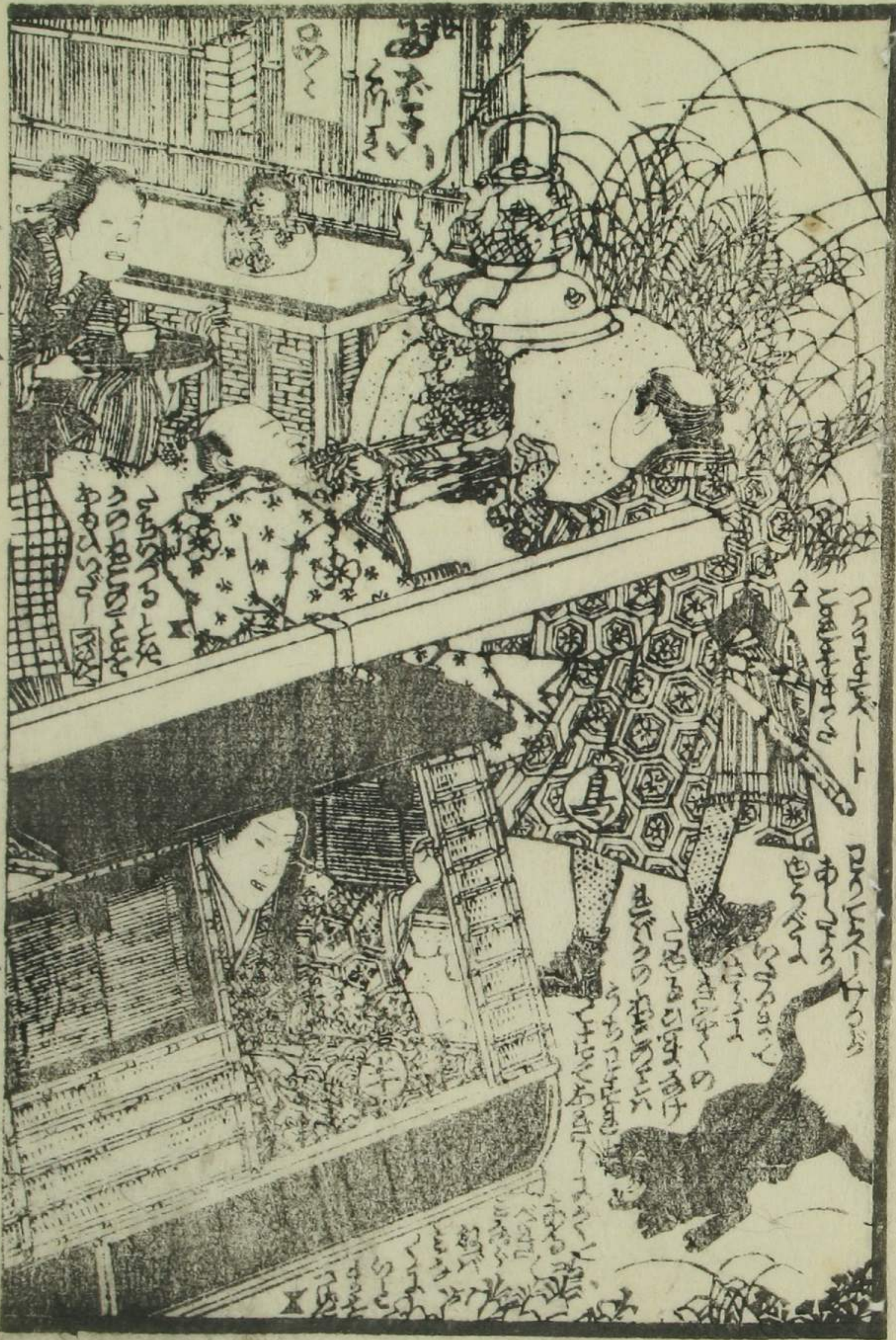
Handwritten text at the top of the right page, continuing the narrative.



Handwritten text at the bottom of the right page, concluding the scene or providing further commentary.







花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿



花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿

花鳥
 文様
 着物
 姿





Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a list or index of items shown in the illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a list or index of items shown in the illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a list or index of items shown in the illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a list or index of items shown in the illustration.

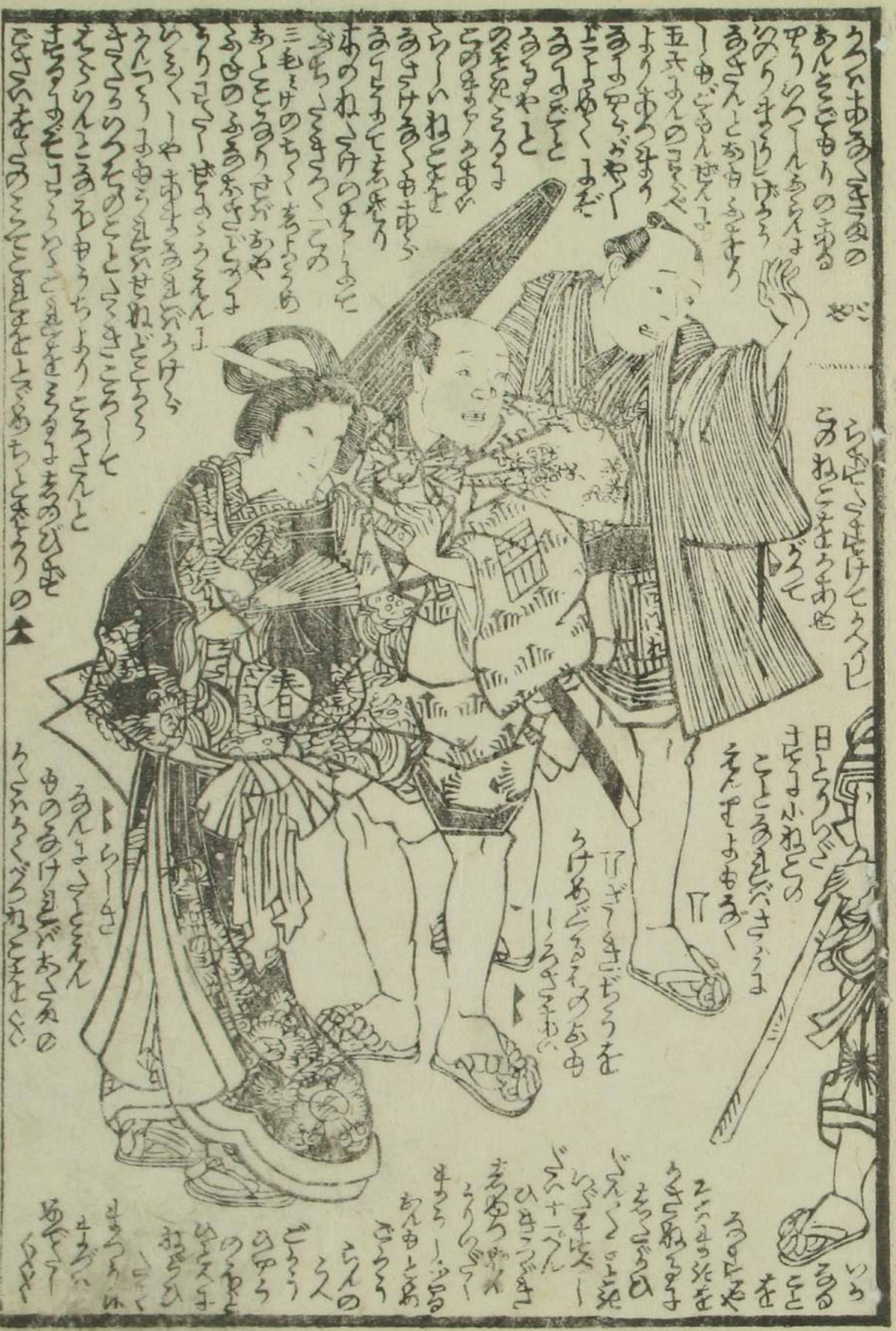






Handwritten text in a cursive style, likely a list or inventory, located above the building illustration. The text includes various characters and symbols, possibly representing items or names.

Extensive handwritten text in a cursive style, likely a list or inventory, surrounding the illustration of the figures and the dog. The text is densely packed and covers most of the page area.

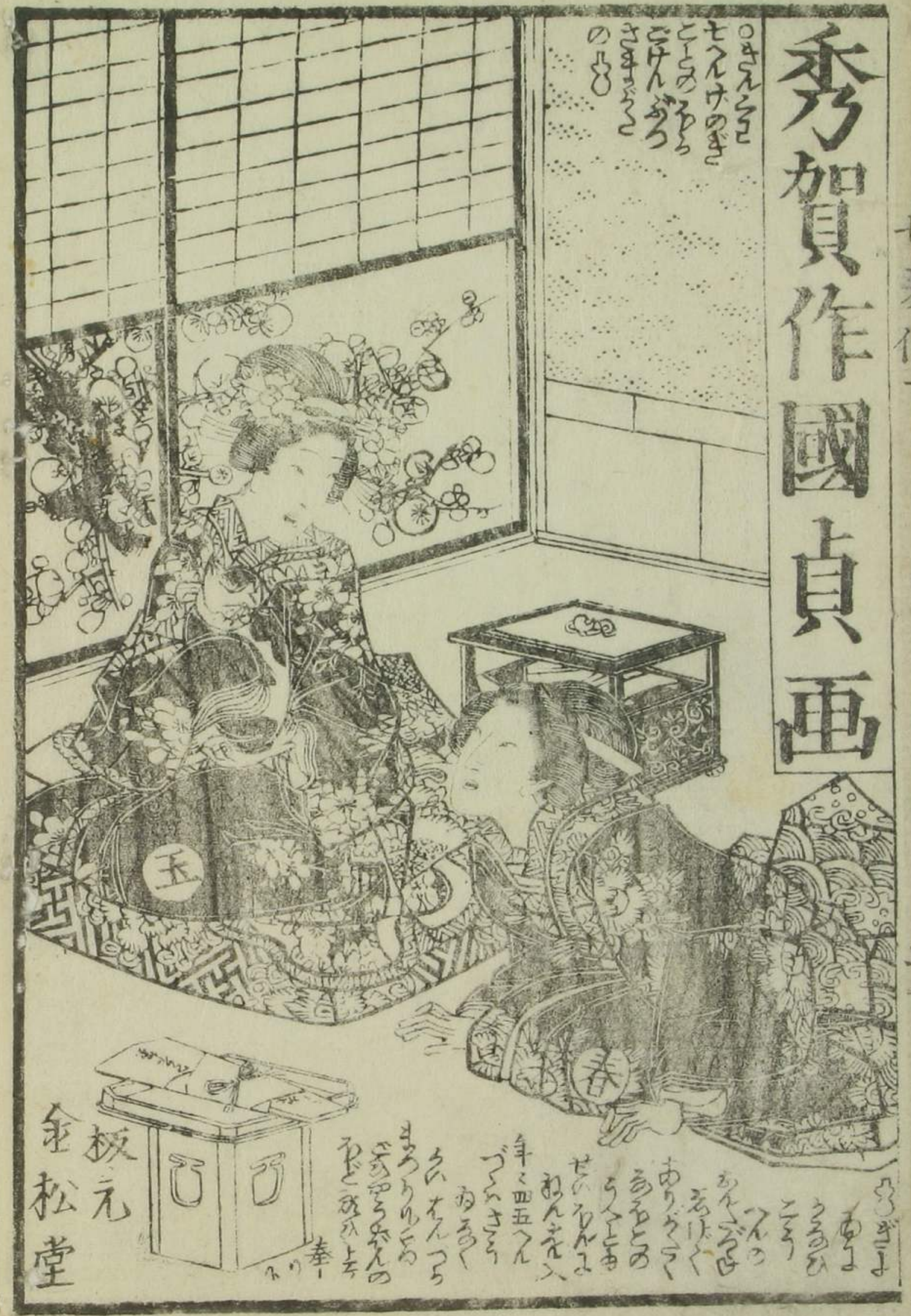


Extensive handwritten text in a cursive style, likely a list or inventory, surrounding the illustration of the figures. The text is densely packed and covers most of the page area.

文久四年甲子陽春開板標目

秀加貝作國貞画

〇アハニ
セハニケノキ
コノシノキ
コノシノキ
コノシノキ
コノシノキ



〇アハニ
セハニケノキ
コノシノキ
コノシノキ
コノシノキ
コノシノキ

板元
金松堂

周防漆模様 四編 貞雅作
六編 國貞画

梅春霞引始 三編 善文作
讀切 國貞画

濡衣女鳴神 十編 秀加貝編次
讀切 國貞画

柳幕鬼双紙 八編 千章作
讀切 國貞画

道外江戸名所 本繪繪
讀切 國貞画

神 氣ハ毒ハ 小星五ノ諸病ハ
仙 一 角 丸
讀合所 東金町 大野傳兵衛



文 地本 問屋 金松堂
双紙

横山町三丁目
辻岡屋文助梓

金華七變化

十五編ヨリ 鶴亭秀賀著作
廿一篇迄 海練樓國貞画

右の硃の外御評判宜鋪いよく作者重二世しんじ代の新案新工しんく文とことし
この彫摺しやくホ念ねんと古今の菱本と做しやくたたるる者官くわん意いて高覽こうらんをわわるるや云

水鏡山鳥奇譚

初篇迄 鶴亭秀賀作
三篇迄 一鶯齋國周画

假枕巽八景

初篇 假名垣魯文作
二篇 同 画

和哥紫小町文章

初篇迄 鶴亭秀賀作
出板 歌川國周画

文

地本 双紙 問屋 金松堂

横山町三丁目 辻岡屋文助梓





金花七變

歌川國貞画

鶴亭秀賀作

上卷





化
弟

金
十
壽
梓

下卷

癸
意
市



歌
川
國
貞
画

鶴
亭
秀
賀
作

上
卷

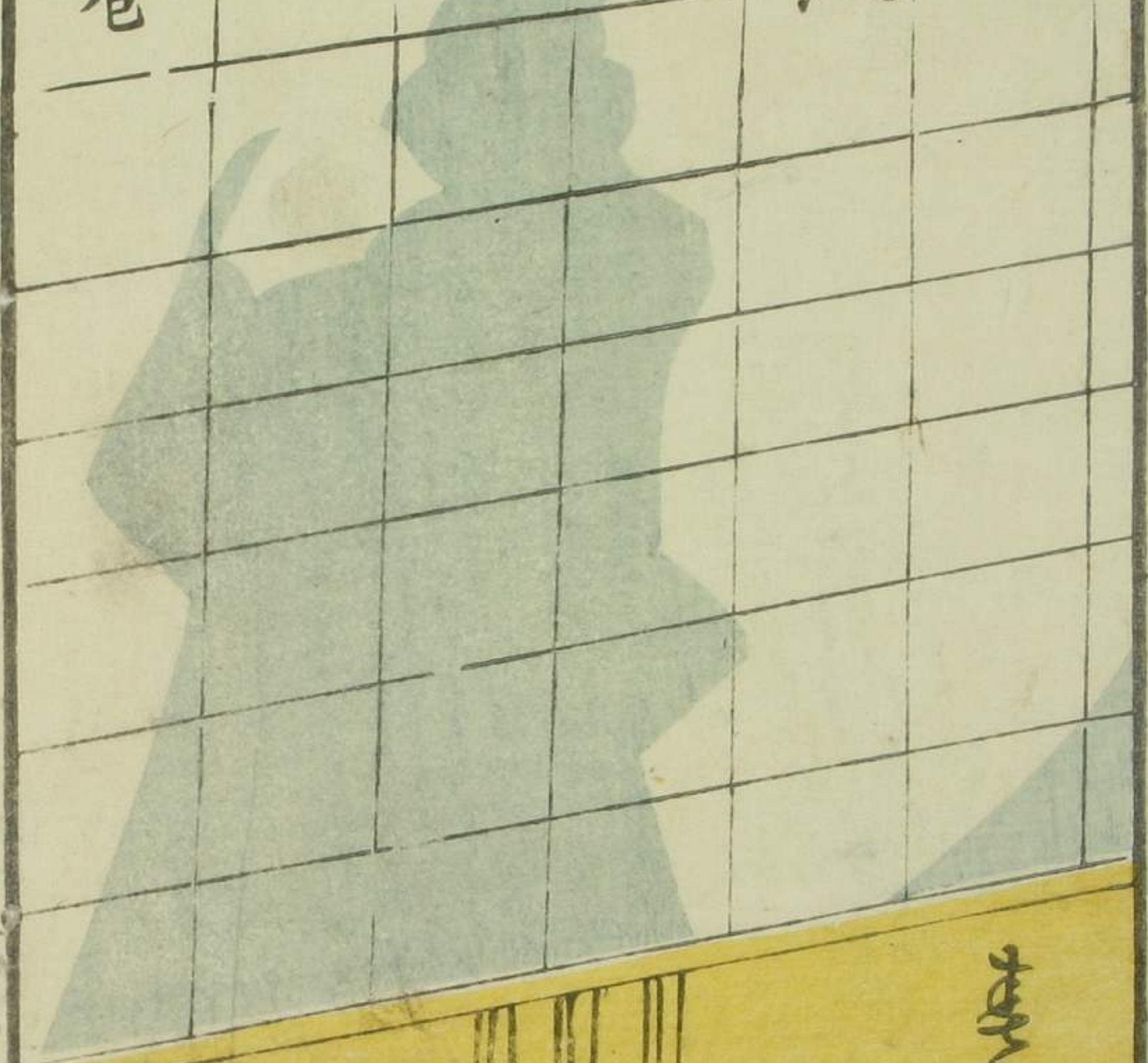
金
七
花
變



金華七夜
 化第十一編
 上の巻
 秀賀作
 國貞画
 金松梓



七 化 十一 篇 下 卷



其乃極
 三人若
 梅坊様
 三人画



大内義弘



緑の市の乳母春野
 念三毛猫と愛と
 大守近寄仇せん
 せいの發端

逆臣
 江
 典膳鬼宗



御休息お王の方

ち玉の方
 乃女沖
 春日野

七変化十



小林半之丞



半之丞の従弟女東
正廣の息女待宵並
木松兵衛の猶子とあり
半之丞の嫁と一夜云

小林の落葉

玉島の猫愛と
小林の飼猫とあり

七変化



鶴高秀賀誌

救世因果の徳を以て
出の縁と云ふ事を出しおし
は清請血衣の爲の函眼と
はの発端と云ふ事と云ふ
はあはれと云ふ事と云ふ
はあはれと云ふ事と云ふ

あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ

あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ



あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ

あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ
あはれと云ふ事と云ふ



さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし

さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし

さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし



さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし

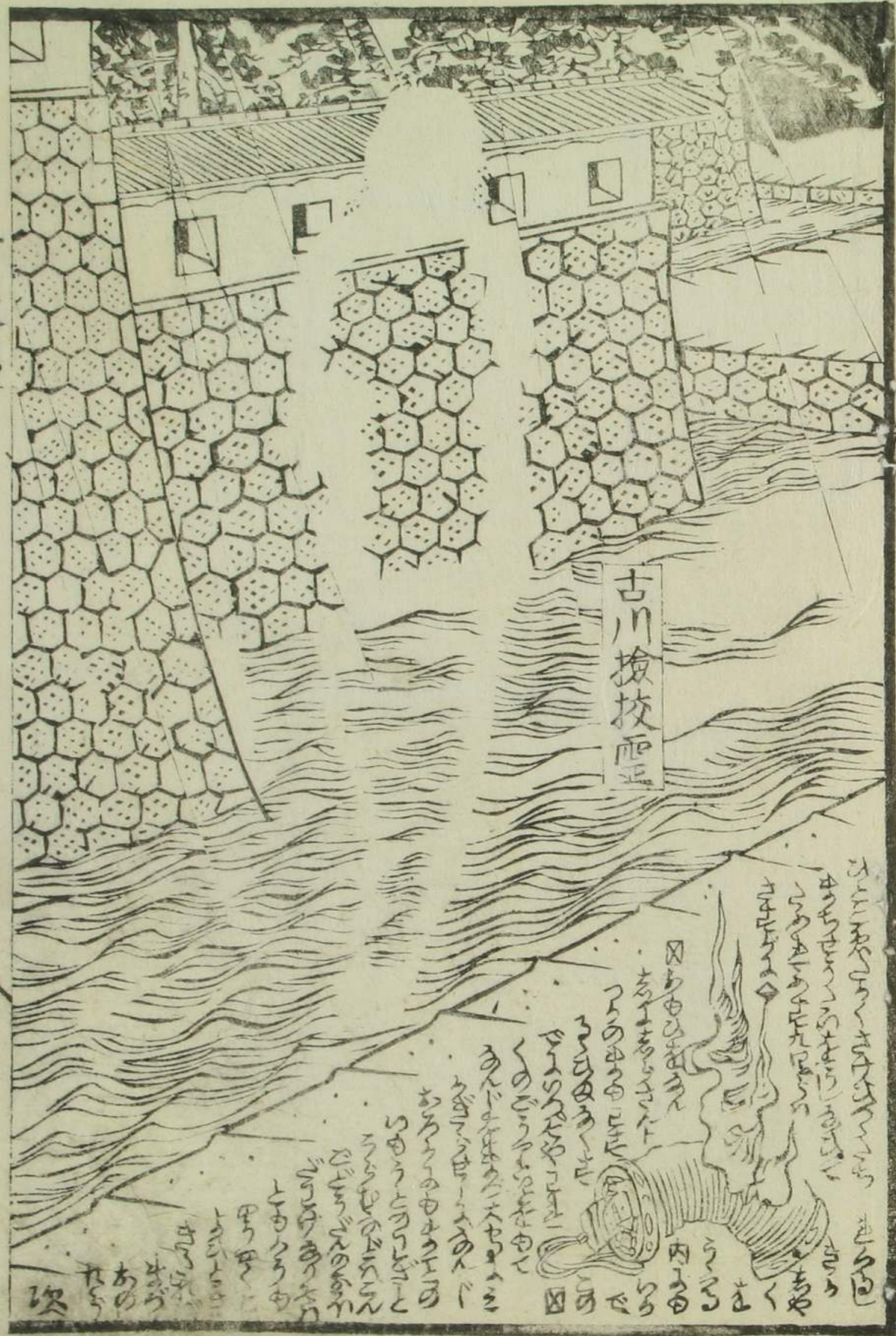
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし

さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし

さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし

さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし

さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし
さし



古川檢校靈





秀賀作國貞画



三











五ノ一

五

同姓の全

...

...



七ノ一

一

...



上段の文字

下段の文字



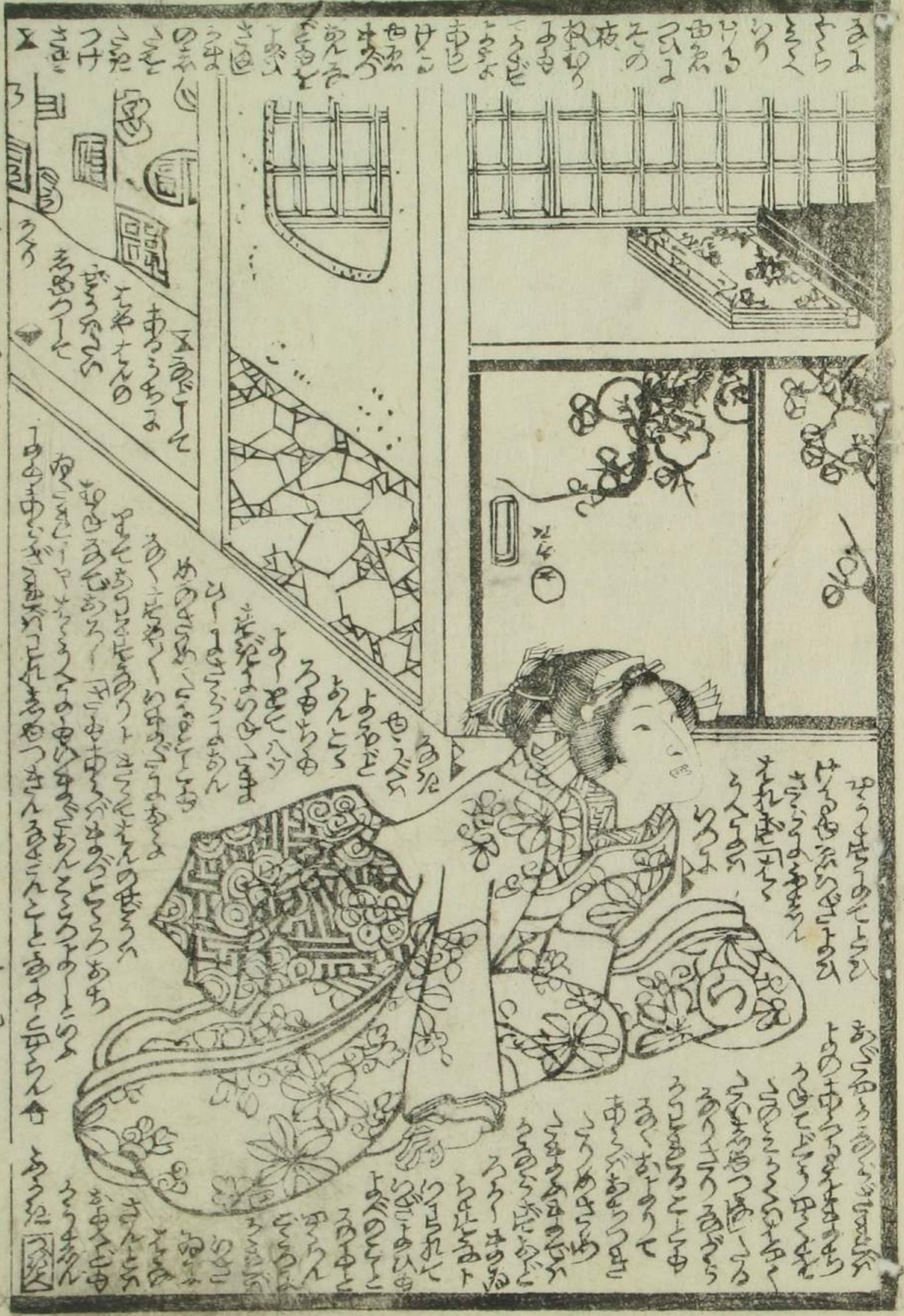
上段の文字

下段の文字



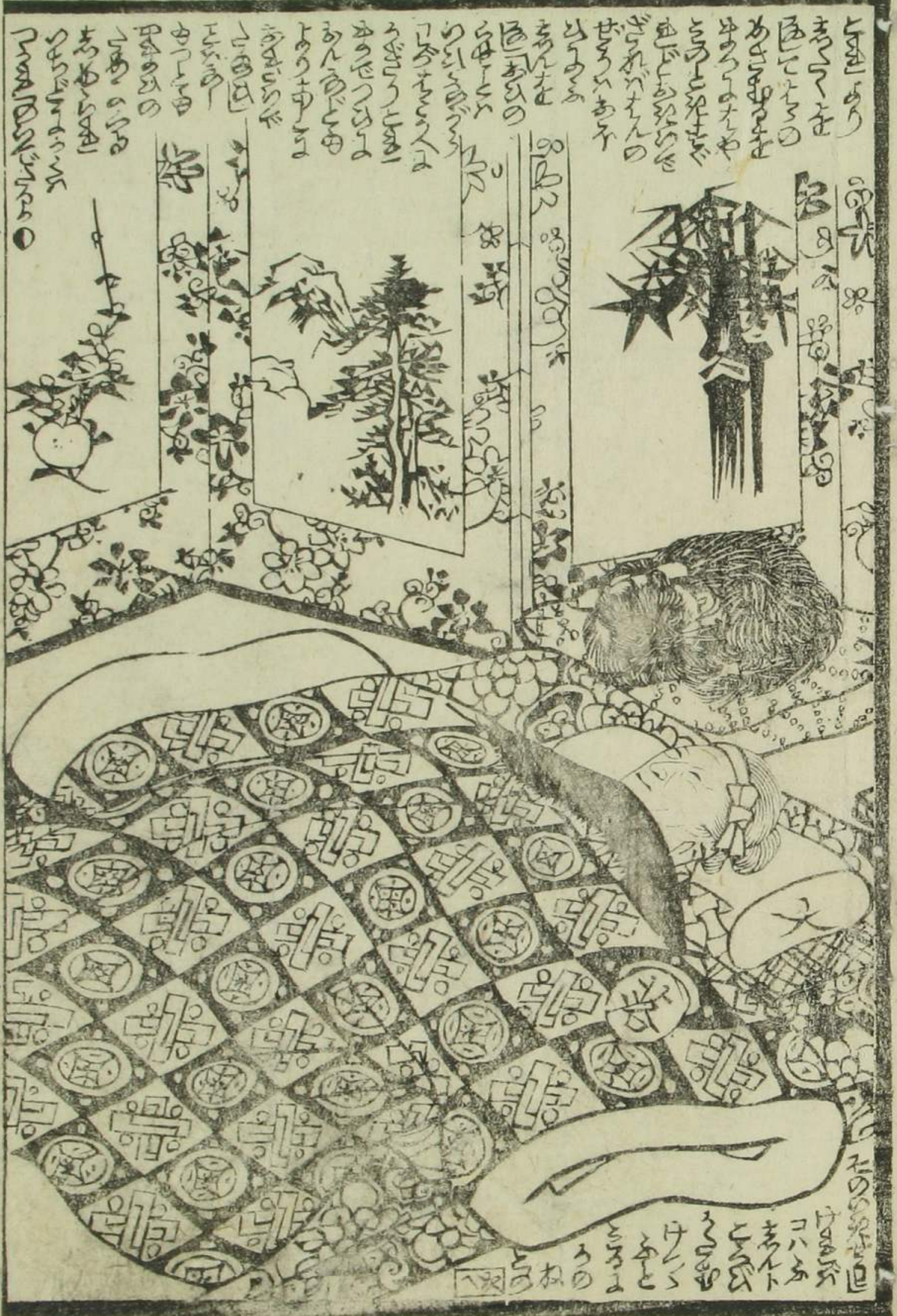
Vertical Japanese text in the upper right corner of the illustration, including characters like 半 and 半.

Vertical Japanese text in the lower right corner, including characters like 半 and 半.



Vertical Japanese text in the upper left corner of the illustration.

Vertical Japanese text in the lower left and center, surrounding the kneeling woman.



Vertical columns of Japanese text located at the top of the page, above the illustration.

Vertical columns of Japanese text located at the bottom of the page, below the illustration.



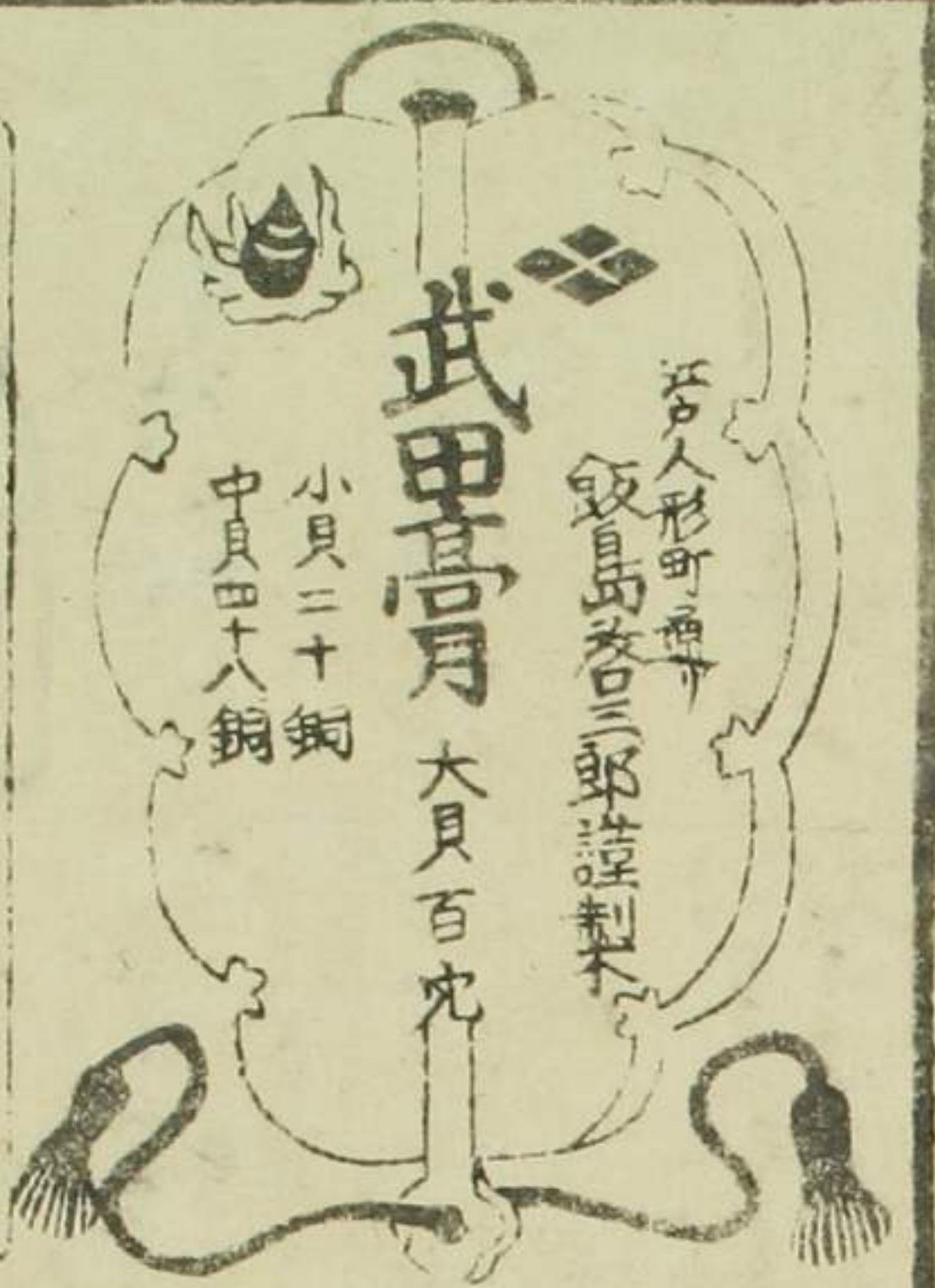
Vertical columns of Japanese text located at the top of the page, above the illustration.

Vertical columns of Japanese text located at the bottom of the page, below the illustration.

父
 本地問屋金松堂
 草紙

横山町三丁目
 辻岡屋文助梓

神
 氣つひ毒け 小児五のん諸病よし
 仙
 一
 角
 九
 諸合所 上総國 東金町 大野傳兵衛



道外江戸名所
 大錦繪 五十 廣景連
 香續
 右の殊の外御評判... 格別彫
 相寄品... 仕上り有之

義經千本櫻
 三編 種清綴
 揃 國貞画

柳幕魁双帝
 八編 凱長作
 揃 國貞画

全洲水殊石川
 一編 又京作
 揃 國芳画

鶴亭秀賀作梅蝶樓國貞画

史記評林
 通鑑
 史記評林
 通鑑
 史記評林
 通鑑

金華七變化

是作者年来の苦辛なる物語を其本傳の座頭の壁ぬり又の神変不思儀の大金華猫大守に仇せん七変をせし未曾有の怪談也此新趣向を設け世話と時代を交する亦が上実録を助くる一見の實に目枯れ神史と云ふべし

十編ヨリ 鶴亭秀賀著作 十五編迄 榎蝶樓國貞画

周防漆櫨模様

三編 律憲貞著作 四編 國貞画 五編 國貞画

梅春霞引始

三編 曾文作 讀功國周画

花柳所室町日記

初編ヨリ 秀賀著作 出板國周画

女太夫虹棧

三編 同作 讀功同画

濡衣女鳴神

九編 同編次 十編 尾國周画

山帰便文月

三編 同作 讀功同画

文

地本 草紙 問屋 金松堂

横山町三丁目 辻岡屋文助梓







第十 戴編

下の巻

金如 喜坊



七 花 変

上の巻

鶴亭秀賀作
梅蝶樓國貞画



第十

戴編

下の巻

金
如
事
書
坊



鶴亭秀賀作
額川國貞畫
金松堂壽梓
亥亥春新鏡

門人
五
水
山

七
要
化
十
部
海
上

金花十二編下
 鶴亭秀賀作
 寄川閣貞畫
 全書春新史

金松畫

壽梓



推の年経るの行て存之羅山文集少の描鬼の作ると未描鬼或へ
 金花描と書肆其出所と詳ふそ花金華描の作る繪ハ甚舊一
 故よ此稗史の如きハ金華と題とせしむる描ハ一字と欠ハ字候更ハ
 卷中を通せし金の花は怪談とある人ハ有ぬに去乍元名の
 表題ハ第一卷中狂意ハ會み次ハ称呼の能て專して
 又字數を吟味あり且如ふる祝ハあり文字撰て作者の
 秘意とある所ハ聞てた様澆淡ハハ常見の予中々號ハ
 緯に故ハ彼陸奥ハ咲出金の花と冠せハ又の口ハ出放題
 され共下ハ七変化と有故大方ハ金華描の怪談ありハ遠くハ言
 春霞樓ハ筆添て

鶴亭秀賀記



11627111



楠原軍學の
御前
東吉如兵衛正廣

落葉の怪猫熊

小森半之丞



11627111

大内家近臣
濱菰
芦之介



114



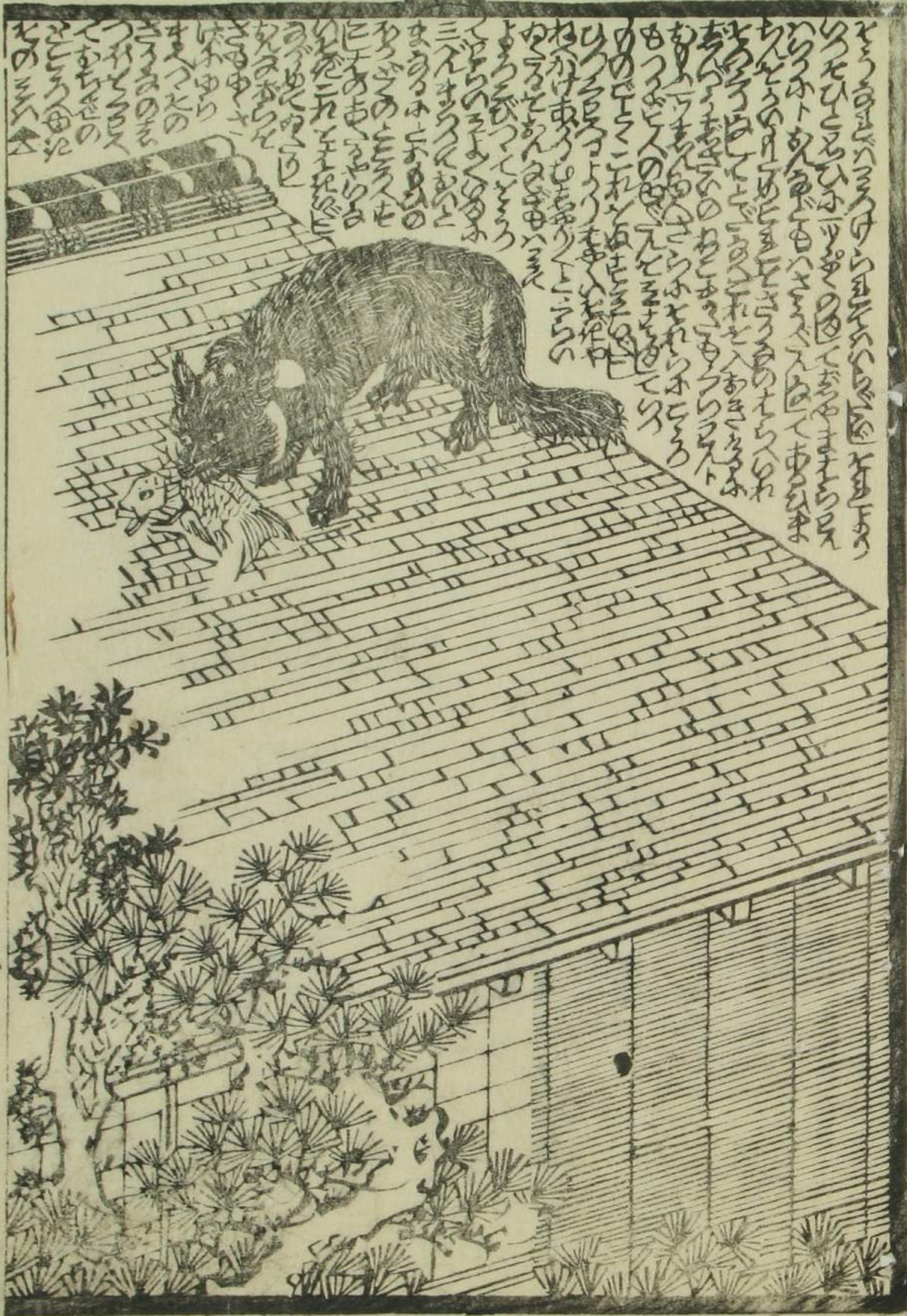
半之巫老母落葉實者
 鳥羽玉の一念と諾せ
 怪猫あり。半之巫
 渾家十六夜
 怪猫の爲み
 老母の手小死を
 哀む時か
 十九歳
 あり

115



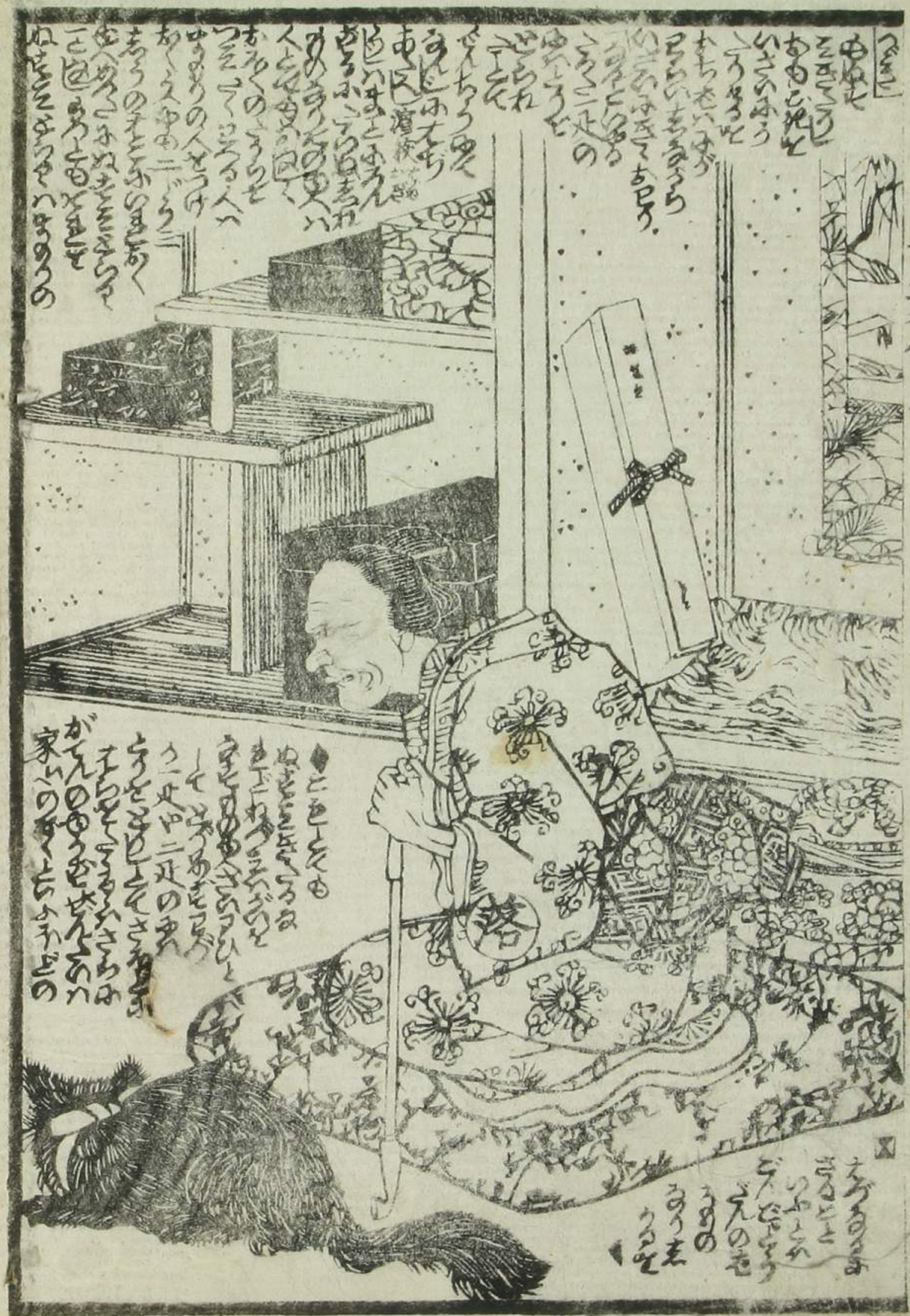
七
月
廿
二
日











七変化十一
 女は泣きながら
 何を言ふも
 聞き流す
 夫は黙して
 立ち去る
 女は涙を
 拭きながら
 立ち上がる
 夫は遠くまで
 立ち去る
 女は涙を
 拭きながら
 立ち上がる

女は泣きながら
 何を言ふも
 聞き流す
 夫は黙して
 立ち去る
 女は涙を
 拭きながら
 立ち上がる
 夫は遠くまで
 立ち去る
 女は涙を
 拭きながら
 立ち上がる



七変化十一
 女は泣きながら
 何を言ふも
 聞き流す
 夫は黙して
 立ち去る
 女は涙を
 拭きながら
 立ち上がる
 夫は遠くまで
 立ち去る
 女は涙を
 拭きながら
 立ち上がる

女は泣きながら
 何を言ふも
 聞き流す
 夫は黙して
 立ち去る
 女は涙を
 拭きながら
 立ち上がる
 夫は遠くまで
 立ち去る
 女は涙を
 拭きながら
 立ち上がる

鶴亭秀賀作梅蝶樓國貞画

この世の情もさかたに思ふはれなれど
 世にまはるゝものもさかたに思ふはれ
 せんまはるゝものもさかたに思ふはれ
 せんまはるゝものもさかたに思ふはれ

かたがは
 うれし
 うれし



かたがは
 のん
 のん
 のん

この世の情もさかたに思ふはれなれど
 世にまはるゝものもさかたに思ふはれ
 せんまはるゝものもさかたに思ふはれ
 せんまはるゝものもさかたに思ふはれ

下男
 のん
 のん
 のん

かたがは
 のん
 のん
 のん

三

鶴



この世の情もさかたに思ふはれなれど
 世にまはるゝものもさかたに思ふはれ
 せんまはるゝものもさかたに思ふはれ
 せんまはるゝものもさかたに思ふはれ

かたがは
 のん
 のん
 のん

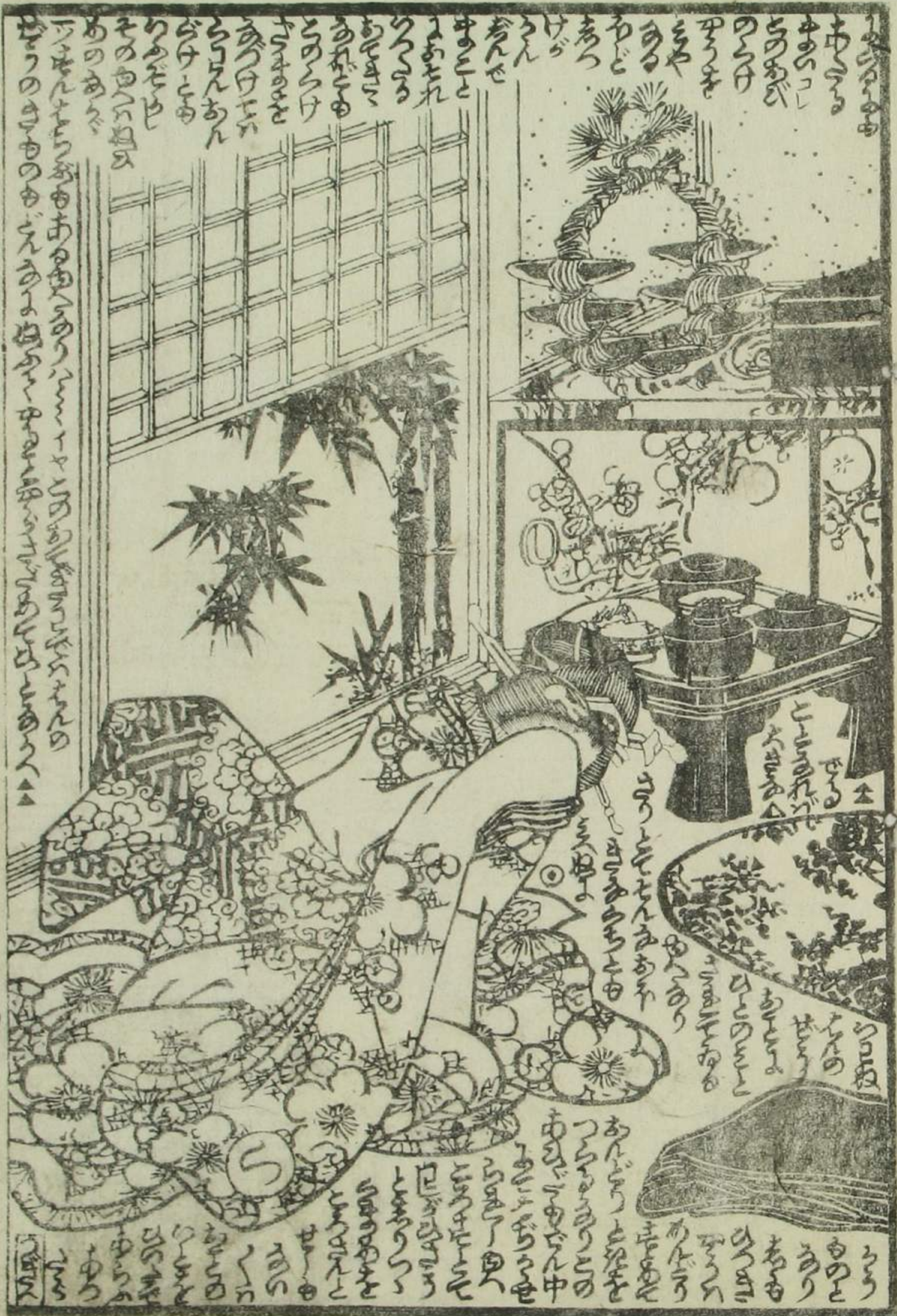
かたがは
 のん
 のん
 のん

正

この世の情もさかたに思ふはれなれど
 世にまはるゝものもさかたに思ふはれ
 せんまはるゝものもさかたに思ふはれ
 せんまはるゝものもさかたに思ふはれ



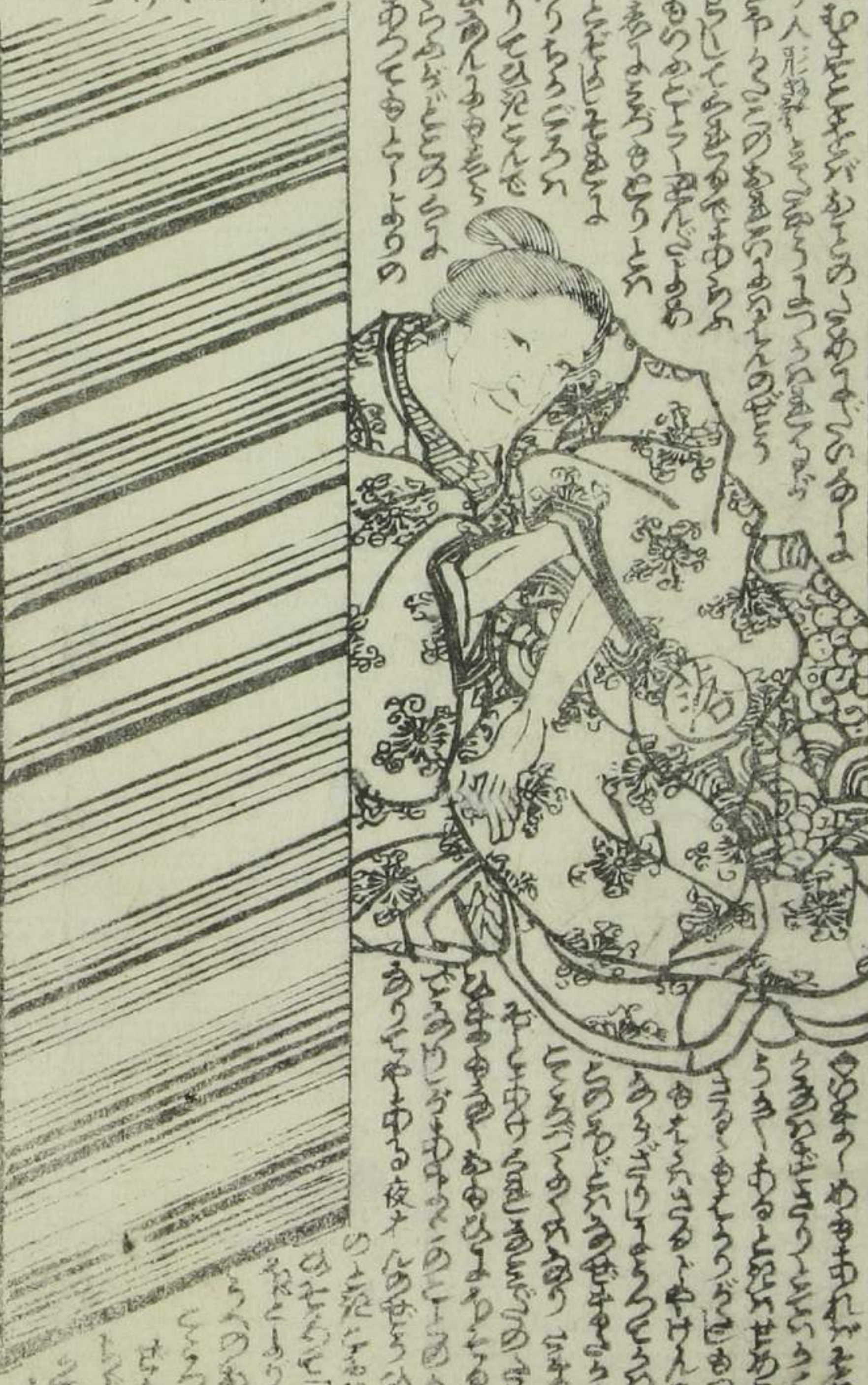
七
七



Vertical text columns on the top right of the page, likely a preface or introductory text.

去國三巴 遠登樓

Main vertical text columns on the right side of the page, surrounding the illustration.



Vertical text columns on the top left of the page, likely a preface or introductory text.

萬里春 傷心江

Main vertical text columns on the left side of the page, surrounding the illustration.

上客 是下







Handwritten text in a cursive script, likely Japanese or Chinese characters, located at the top of the page above the illustration.

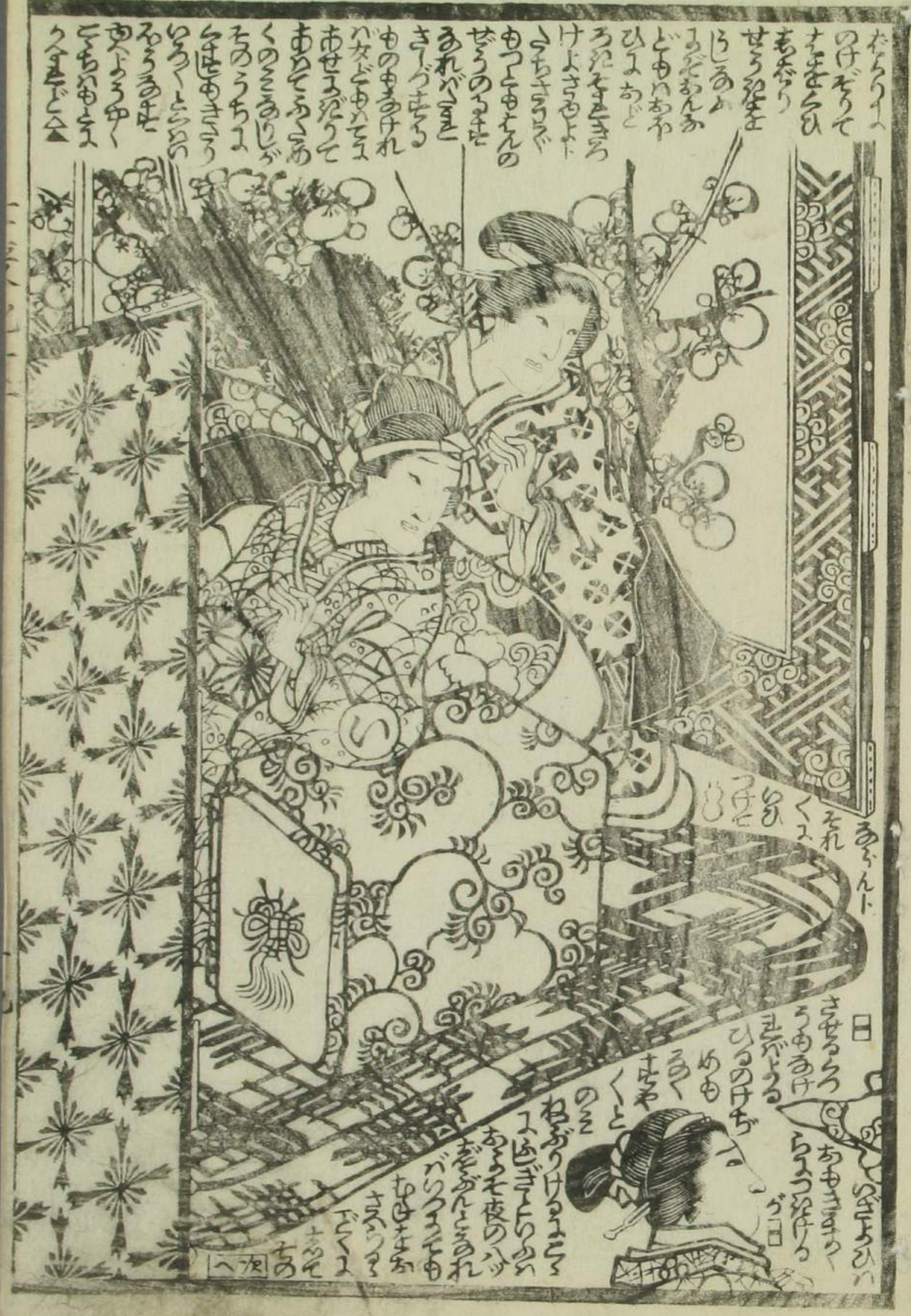
Handwritten text in a cursive script, likely Japanese or Chinese characters, located at the bottom of the page below the illustration.



Handwritten text in a cursive script, likely Japanese or Chinese characters, located at the top of the page above the illustration.

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese or Chinese characters, located at the bottom of the page below the illustration.



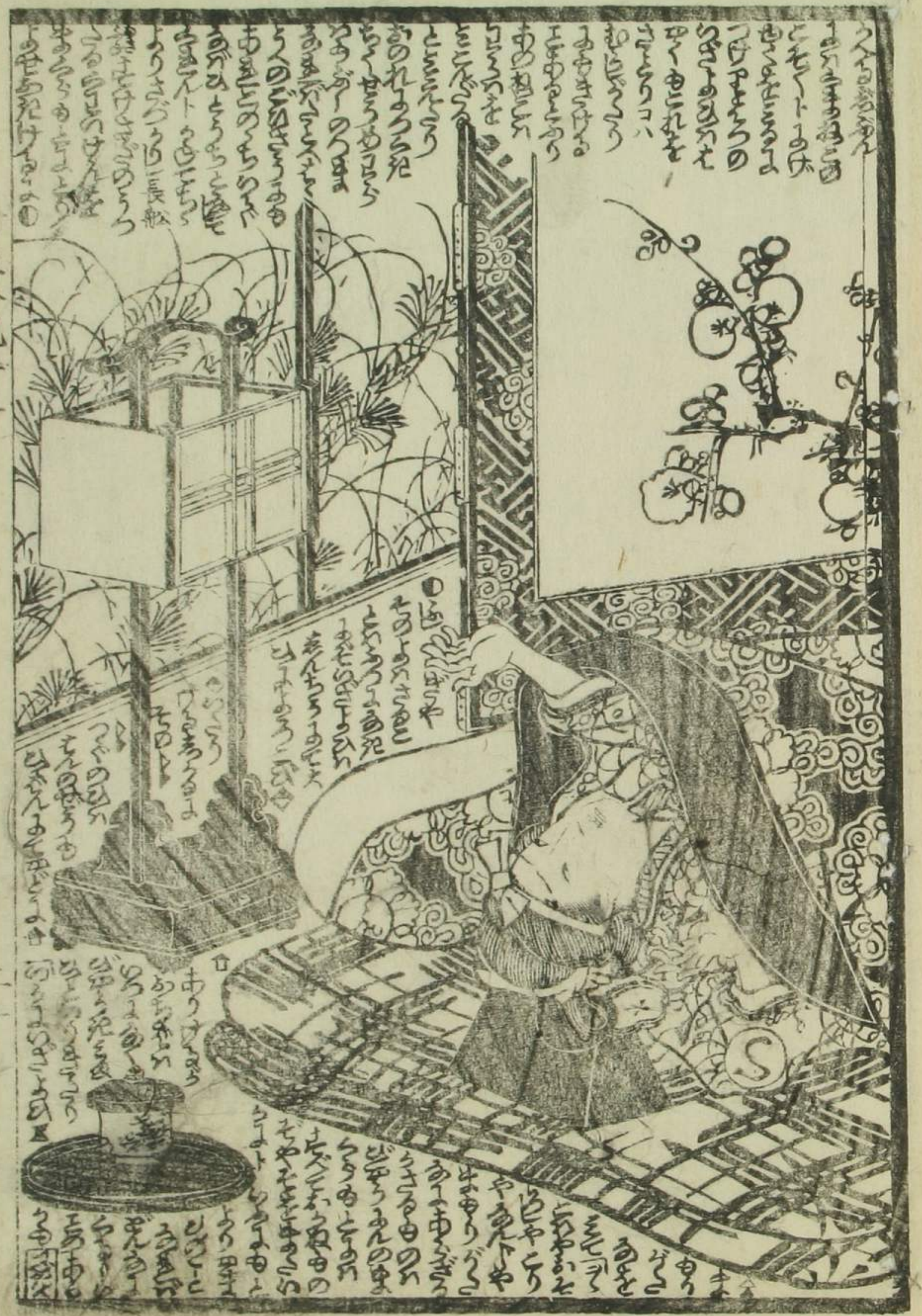




Handwritten text in a cursive script, likely Latin or a similar European language, located at the top of the page above the illustration.

Vertical handwritten text on the right margin of the page.

Vertical handwritten text on the right margin of the page.



Handwritten text in a cursive script, likely Latin or a similar European language, located at the top of the page above the illustration.

Large block of handwritten text in a cursive script, likely Latin or a similar European language, located below the illustration.

Vertical handwritten text on the left margin of the page.

Vertical handwritten text on the left margin of the page.

鶴亭秀賀作梅蝶樓國貞画



周防深櫻模様 四編 貞雅作
六編 國貞画

梅春霞引始 三編 尊文作
讀切 國貞画

濡衣女鳴神 十編 秀賀編次
讀切 國貞画

柳幕鬼双紙 八編 千章作
讀切 國貞画

道外江名所 大繪繪 廣景画
五編 讀切

神 兼の善 小児五丸 諸病よほ
仙 一 角 丸
諸合所 東金町 大野傳兵衛



文 地本 問屋 金松堂
双紙

横山町三丁目
辻岡屋文助梓

文久四年甲子陽春發板目錄

金華七變化

十五編ヨリ 鶴亭秀賀著作
廿一篇近 梅鉢樓國貞画
右の殊の外御評判宜鋪り々々作者画二世一代の新案新工夫をこぼし
この彫摺ホ念々古今の姜本と做しなほさる者官競て高覽をわづや云

水鏡山鳥奇譚

初篇ヨリ 鶴亭秀賀作
三篇迄 一鴛齋國周画

假枕巽八景

初篇 假名垣魯文作
二篇 画

和哥紫小町文章

初篇ヨリ 鶴亭秀賀作
追板 歌川國周画

文

地本 双紙 問屋 金松堂

横山町三丁目 辻岡屋文助梓





上の巻

金花

七化

金枝
斎椿







鶴亭秀賀作

梅蝶樓國貞画

第

十三

編

下の巻



第 十三 編

七変化

第 十三 編

金松中秀林

上の巻

盲治筆下

とらばら
たぐ
困りごとく

金華七變化第十三編換序

猫賦

鶴亭秀賀述

猫はく、亦鼠を捉ふの功は誇ると雖大の牙の
 勝綽不與常は膜を鳴せと却而已は首級
 鈴は其音造は劣り彼女三の宮の翠簾を曳出
 淫奪の媒は昔語のあれと佛縁薄くして釋迦の涅槃
 會は偶西行上人の手は属せと勿心地營門の外は童子の
 持遊びくある嘗て古人五徳を奉る賞翫されと未信者を斥く
 異名不道或は其睛十二時を辨る共時守の定香ありは
 猫はく、亦陰歎ふと寒を嫌ひ暖を好むと魚鮫を食はる
 彼餓鬼道の苦を請う成はる倅僥は婦人の愛せられ
 不去と常は鼻先冷くして終は皮を剥き撥の當は綽を用心は



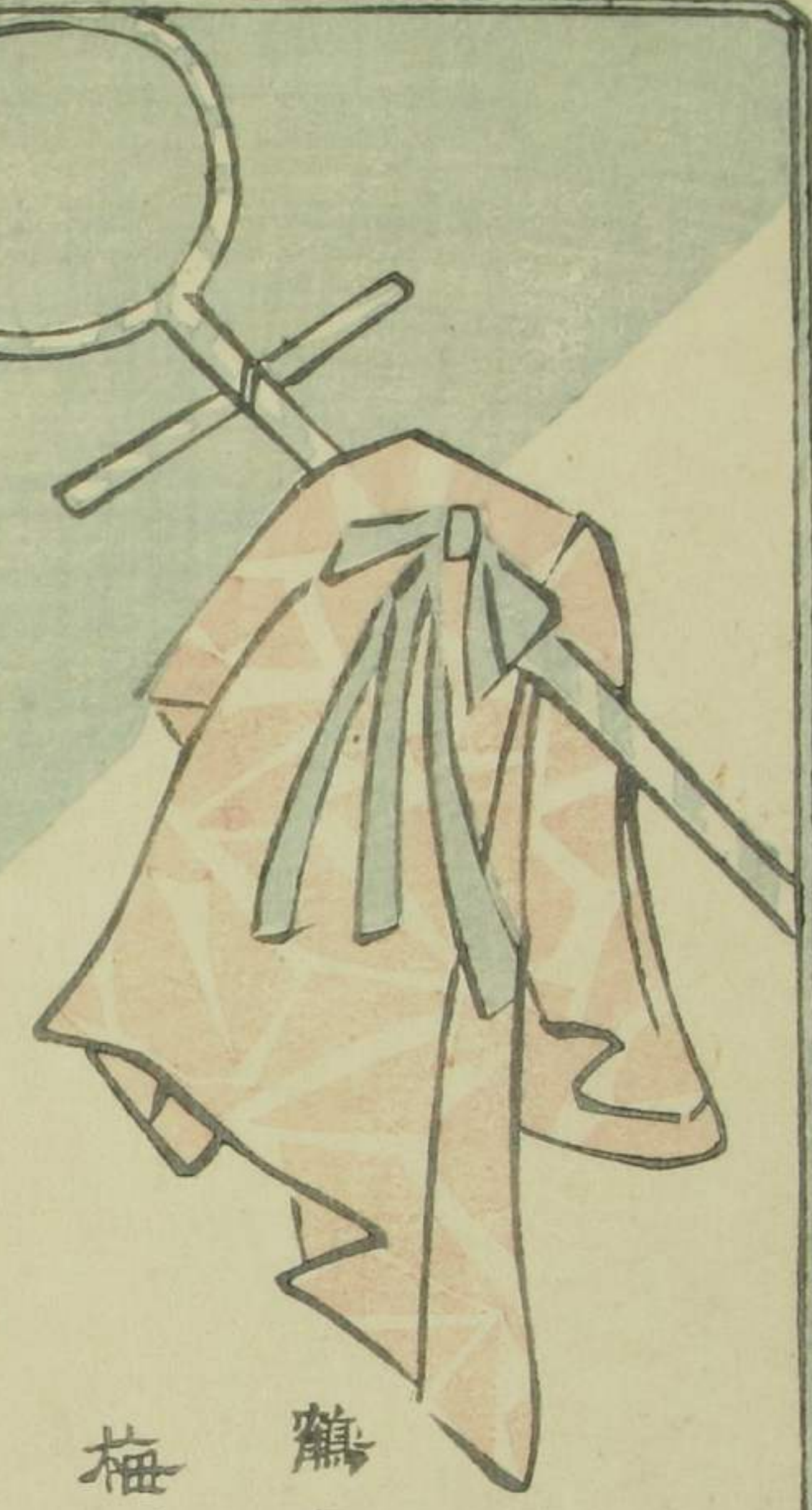
金花七變化

第十三篇

下之卷

金和堂藏本

音ハ虫



鶴亭

秀賀作

梅軒樓

國貞画



冷香庵
 弓矢の
 桂法
 子母の
 子母の



容とある
 の泉黄許残を子
 怪猫の
 再應
 病治
 十六夜
 弓法
 要簡
 子母



東土嘉兵衛正廣
 草目法の以て妖猫の障礙
 除く

十六夜
 弓法
 要簡
 子母



○小本杯
半之魚
晴光

悪念
の妖猫

○小本の老母
賣の猫間の
後室馬羽
玉

七変化十三



一念の
怪猫

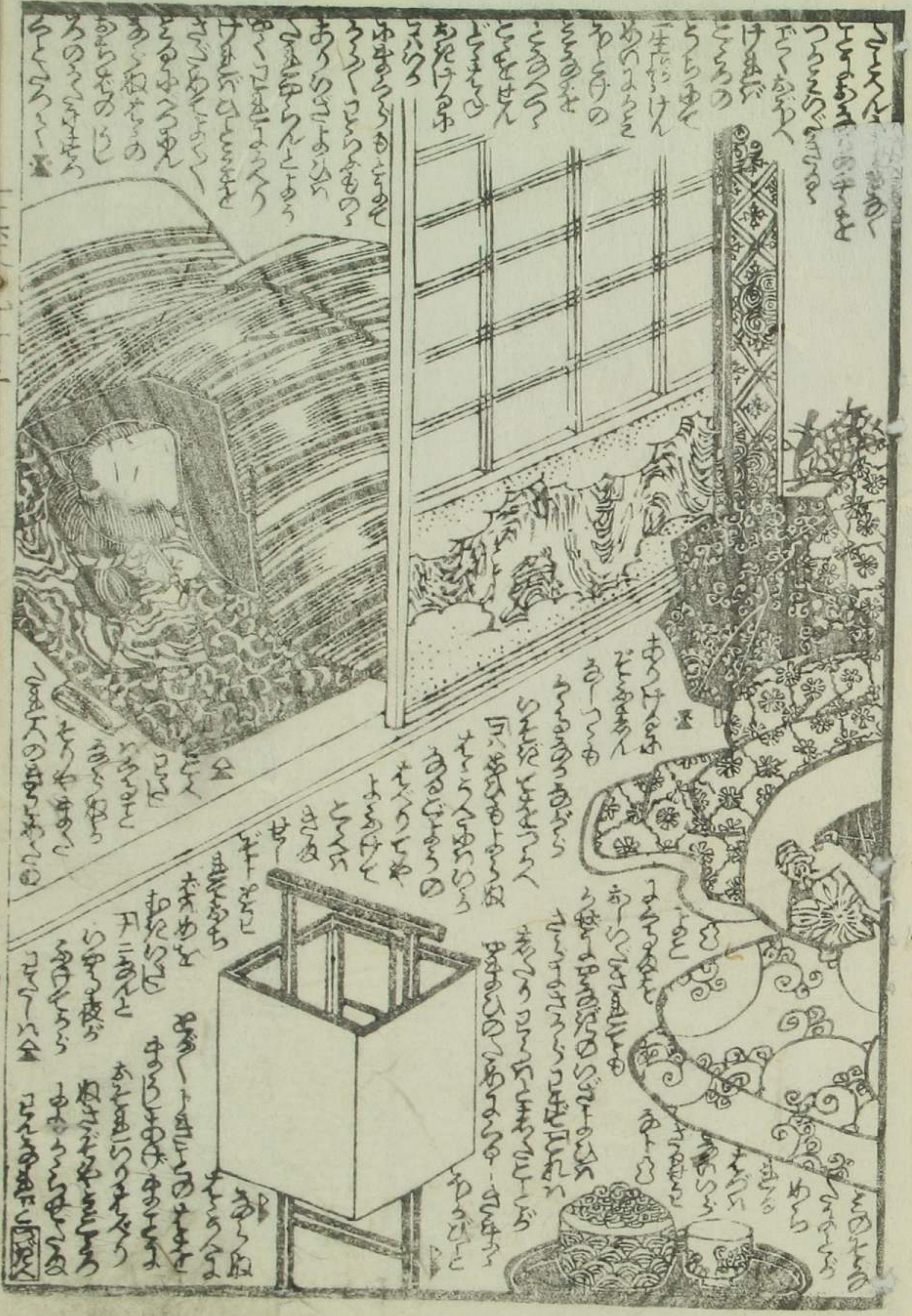
○於玉の方の弓
春日
野の實の
野の春の
乳母の市の

七変化十三



Handwritten text in a cursive style, likely a haikai or waka poem, located at the top of the illustration.

Handwritten text in a cursive style, likely a haikai or waka poem, located at the bottom of the illustration.



Handwritten text in a cursive style, likely a haikai or waka poem, located at the top of the illustration.

Handwritten text in a cursive style, likely a haikai or waka poem, located at the bottom of the illustration.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the bottom of the right page.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, likely a list or index, located at the bottom of the left page.



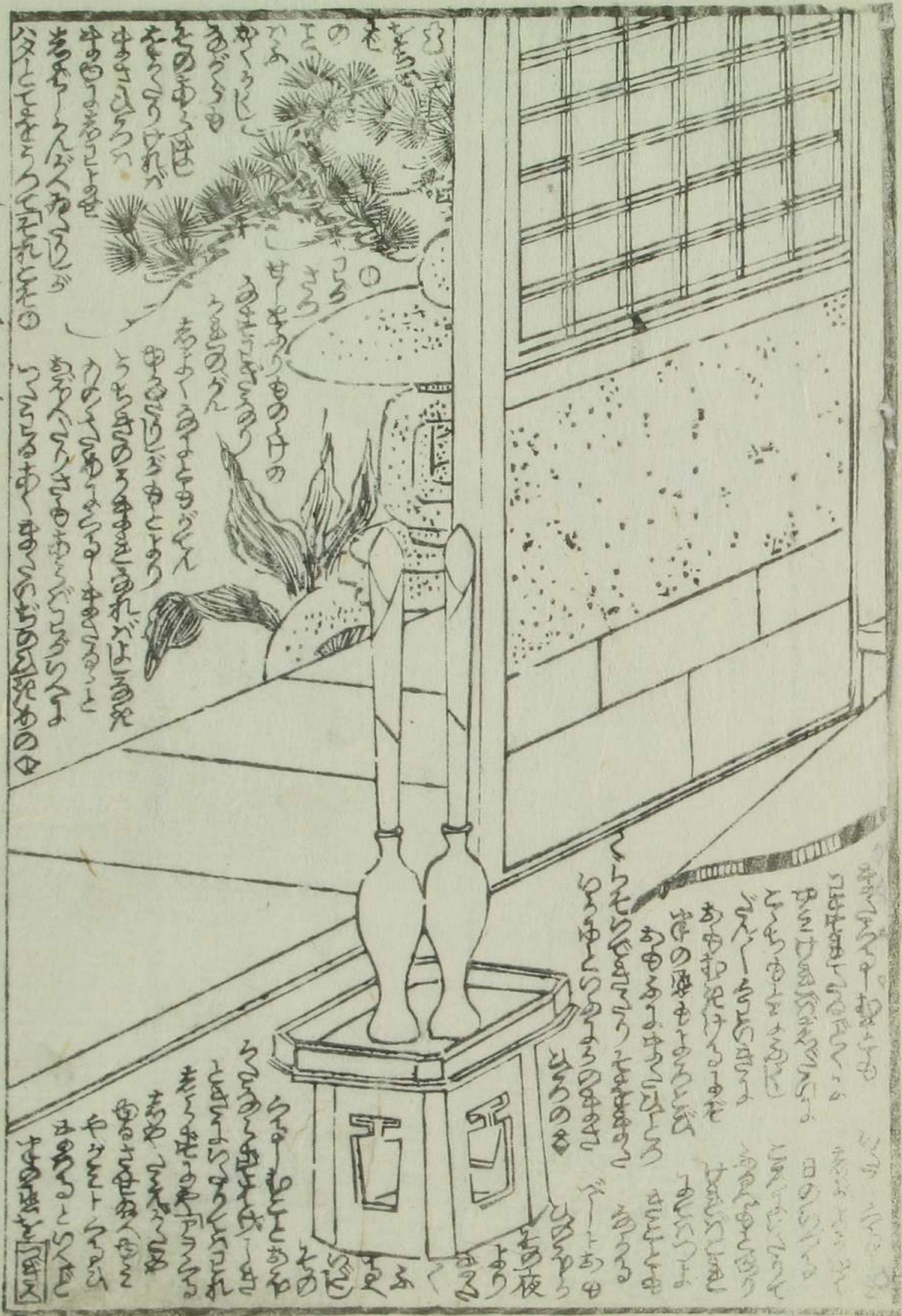
妖猫の
 七変化
 十三
 妖猫の
 七変化
 十三

妖猫の
 七変化
 十三



妖猫の
 七変化
 十三

妖猫の
 七変化
 十三





Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect, located at the top of the page above the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located in the upper middle section of the page, above the standing woman.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the page, between the two women.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower middle section of the page, above the seated woman.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the page, below the seated woman.



Handwritten text in a cursive script, located at the top of the page above the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located in the upper middle section of the page, above the standing woman.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the page, between the two women.

Handwritten text in a cursive script, located in the lower middle section of the page, above the seated woman.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the page, below the seated woman.

春の風
花の香
鳥の声
水の音
月の光
雪の白
霧の白
雲の白
空の青
地の赤
木の青
草の青
花の赤
果の赤
葉の青
石の白
土の赤
砂の白
水の青
空の青
地の赤
木の青
草の青
花の赤
果の赤
葉の青
石の白
土の赤
砂の白
水の青

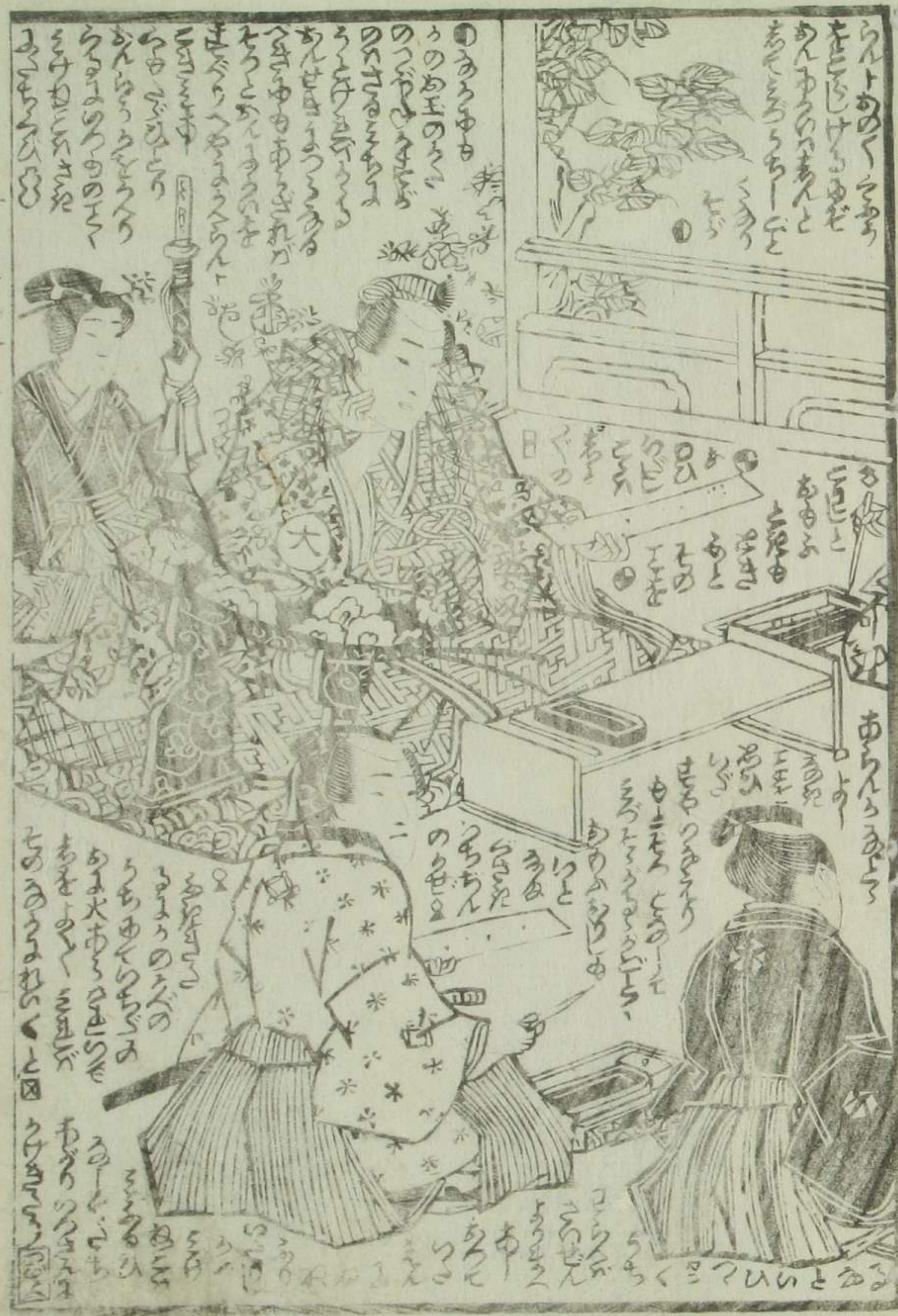


春の風
花の香
鳥の声
水の音
月の光
雪の白
霧の白
雲の白
空の青
地の赤
木の青
草の青
花の赤
果の赤
葉の青
石の白
土の赤
砂の白
水の青
空の青
地の赤
木の青
草の青
花の赤
果の赤
葉の青
石の白
土の赤
砂の白
水の青

春の風
花の香
鳥の声
水の音
月の光
雪の白
霧の白
雲の白
空の青
地の赤
木の青
草の青
花の赤
果の赤
葉の青
石の白
土の赤
砂の白
水の青
空の青
地の赤
木の青
草の青
花の赤
果の赤
葉の青
石の白
土の赤
砂の白
水の青



春の風
花の香
鳥の声
水の音
月の光
雪の白
霧の白
雲の白
空の青
地の赤
木の青
草の青
花の赤
果の赤
葉の青
石の白
土の赤
砂の白
水の青
空の青
地の赤
木の青
草の青
花の赤
果の赤
葉の青
石の白
土の赤
砂の白
水の青





秀乃賀作國貞画

Illustration of a woman's face in profile, looking to the right.

Illustration of a woman's face in profile, looking to the left.

Illustration of a woman's face in profile, looking to the left.

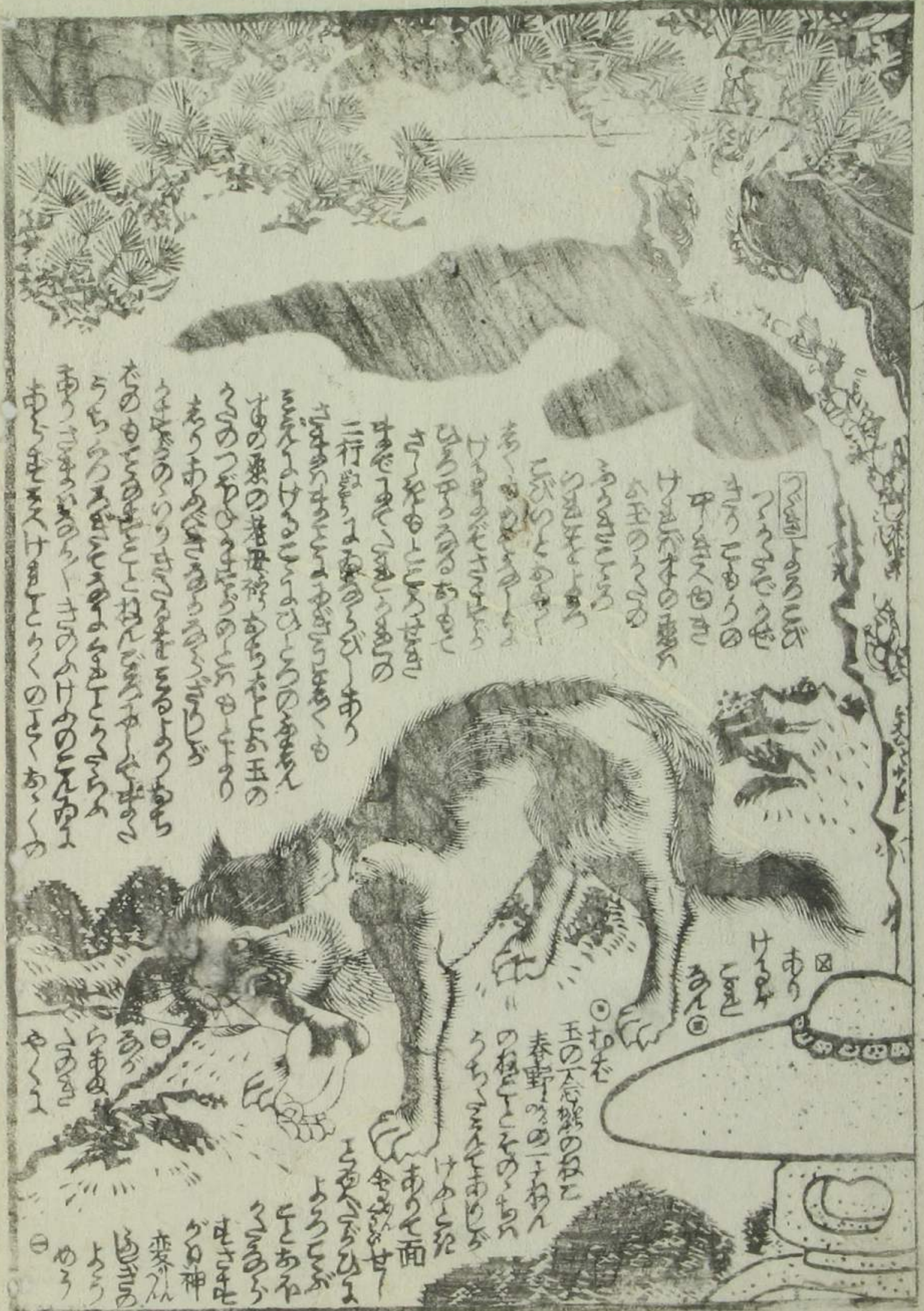


緑の市の亡霊

Illustration of a man's face in profile, looking to the right.

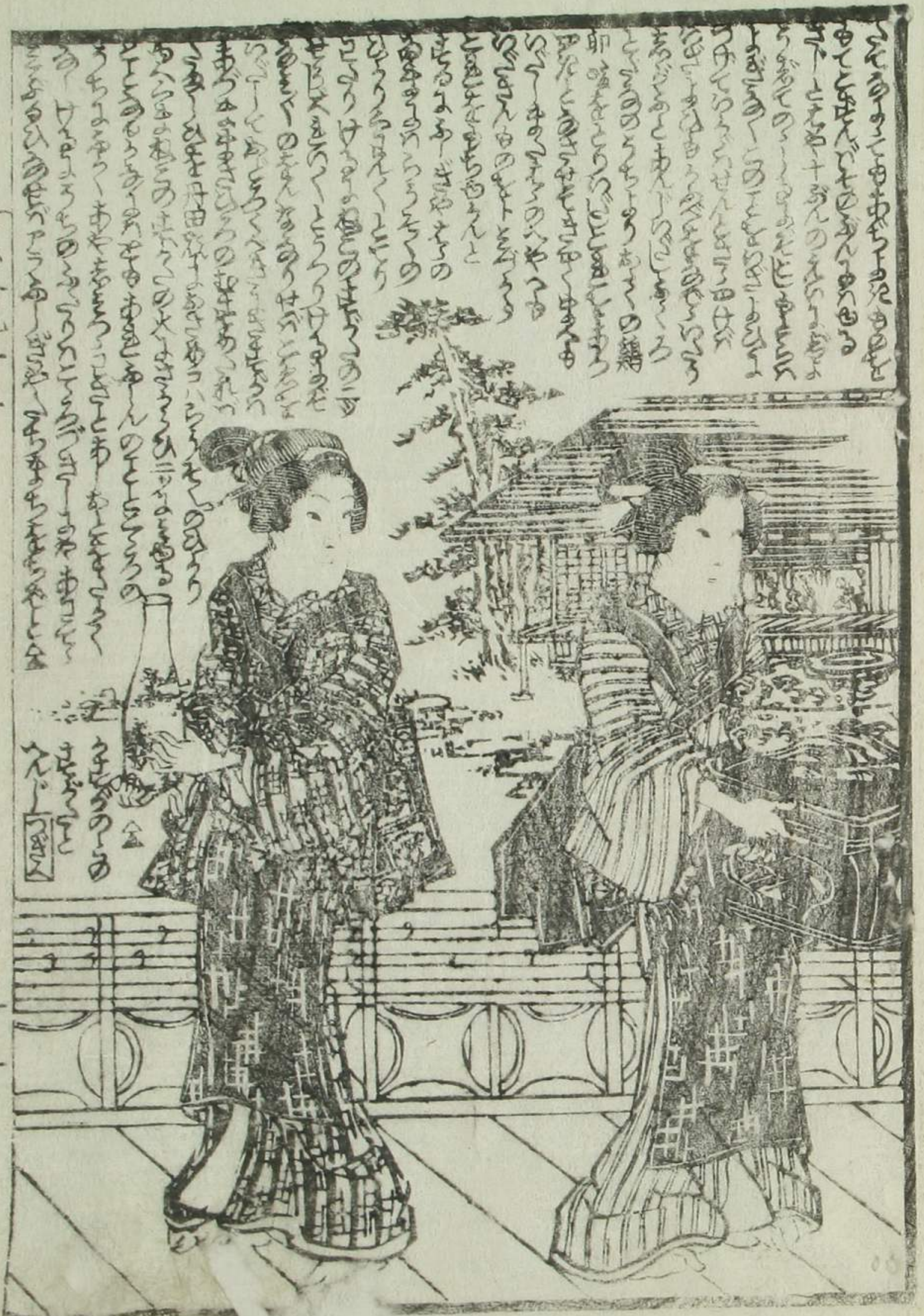
Illustration of a man's face in profile, looking to the left.

Illustration of a man's face in profile, looking to the left.





Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy or a specific dialect, positioned above the illustration.



Handwritten text in a cursive script, positioned above the illustration.

Small handwritten text or a signature located at the bottom left of the illustration.

Handwritten text at the top of the left page, including the word 'Hans' and other illegible characters.



Handwritten text at the bottom of the left page, including the word 'Hans' and other illegible characters.

Handwritten text at the top of the right page, including the word 'Hans' and other illegible characters.



Handwritten text at the bottom of the right page, including the word 'Hans' and other illegible characters.

Vertical Japanese text at the top of the left page, likely a title or chapter heading.



Vertical Japanese text at the bottom of the left page, providing commentary or descriptions of the scene.

Vertical Japanese text at the top of the right page, likely a title or chapter heading.



Vertical Japanese text at the bottom of the right page, providing commentary or descriptions of the scene.



Illustration
of two
women
playing
shamisen
in a
room
with a
window
and a
mat.

Illustration
of a
woman
playing
shamisen
in a
room
with a
window
and a
mat.

Illustration
of a
woman
playing
shamisen
in a
room
with a
window
and a
mat.



Illustration
of a
woman
playing
shamisen
in a
room
with a
window
and a
mat.

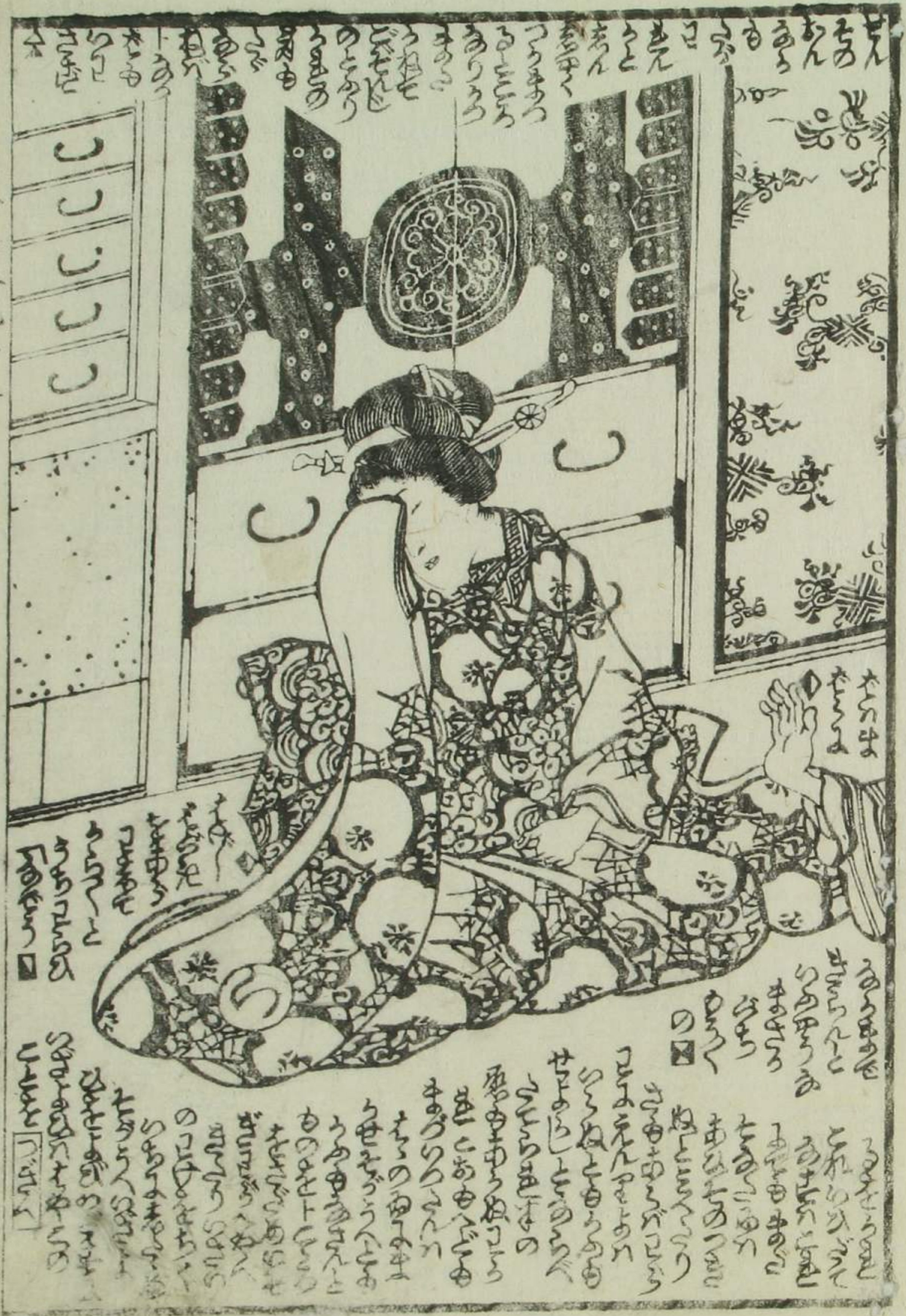
Illustration
of a
woman
playing
shamisen
in a
room
with a
window
and a
mat.

Illustration
of a
woman
playing
shamisen
in a
room
with a
window
and a
mat.

Illustration
of a
woman
playing
shamisen
in a
room
with a
window
and a
mat.









鶴亭秀賀作



梅蝶樓國貞画

版元 金松堂欽白

周防染櫻模様 四編 貞雅作

梅春霞引始 三編 善文作

濡衣女鳴神 十編 善文作

道外江戸名所 五編 廣景画

横山町三丁目 辻岡屋文助梓

神 一 角 丸
調合所 上総國 大野傳兵衛



文 地本 問屋 金松堂

金華七變化

十五編ヨリ 鶴高秀賀著作
廿篇近 海蝶樓國貞画
右の殊の外御評判宜鋪
作者画二世一代の新案新工夫と云
この彫摺ホ念々古今の羨本と做
一巻の者官競一高賢と云

水鏡山鳥奇譚

初篇の 鶴亭秀賀作
三篇迄 一鶯齋國周画

假枕巽八景

初篇 假名垣魯文作
二篇 同 画

和哥紫小町文章

初篇の 鶴亭秀賀作
追板 歌川國周画

文

地本 問屋 金松堂
双紙

横山町三丁目
辻岡屋文助梓





三才図會